クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」

４月から11月までJR東日本が運行する「四季島」が来訪中です！大崎市では、鳴子温泉駅に停車します。

◀歓迎！ようこそ大崎市へ

5月の来訪日時 5月12日㈭・19日㈭ 6時17分着～9時37分発

大崎の特産品が勢揃い！
「湯けむりマルシェ」 「四季島」来訪日に開催中！

5月の開催日時 5月12日㈭・19日㈭ 8時～10時30分

場所 鳴子温泉ゆめぐり広場（鳴子温泉字湯元94）

今月の表紙

４月7日、古川地域の春の風物詩となっている「古川八百屋市（やおやまち）」が、道の駅おおさきで開催されました。

６月27日㈪まで、３と７の付く日に開催される古川八百屋市は、江戸時代から400年以上続いている伝統的な市です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じて迎えた初日は、朝早くから野菜や漬物、魚介類、花の苗などがところ狭しと並べられていました。訪れた客は、生産者と会話を楽しみながら、目当てのものを買い求めていました。

皆さんも人の笑顔と活気あふれる楽しい八百屋市に立ち寄ってみませんか。

みんなで知ろう！考えよう！行動しよう！

Let's! 男女共同参画

vol.1
「アンコンシャス・バイアスとジェンダー」

問 まちづくり推進課男女共同参画推進室 ☎ 23-2103

市が目指している男女共同参画の理念は、「すべての人が、その性別に関わりなく一人の人間として大切にされ、一人一人が個性豊かに生きることができる社会」の実現です。

「男性は仕事をして家計を支えるべき」「家事・育児は女性が行うべき」といった考え方は**「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」**と言い、育った環境や経験の影響を受け、誰もが持ちがちな見方・捉え方です。中でも、**社会的・文化的につくられる固定的性別役割分担意識「ジェンダー」**は、偏見や不平等などが生まれる要因にもなります。

古くから続く慣習やしきたりは、現代の価値観とは異なり、違和感を持つ人も増えています。「女らしくしなさい、男らしくしなさい」もアンコンシャス・バイアスな発言です。気をつけましょう。

その気づきが、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現への一助となります。

広報おおさき５月号 2022 No.194

Main Contents 目次

04 新型コロナウイルスワクチン接種情報
05 「人財」としての職員を目指して（職員募集）
08 CITY TOPICS
10 Discover OSAKI
11 OSAKI Culture
12 オオサキプレイガイド
14 くらしの情報　大崎市役所新庁舎に設置する屋内広場の愛称を募集します　ほか
24 育児相談・乳幼児健診
26 相談コーナー
28 第2次大崎市総合計画・後期基本計画などを策定しました

オオサキワンダーミュージアム 人と大自然の青空博物館

vol.25 豊饒（ほうじょう）の大地「大崎耕土」世界農業遺産ブランド認証

問 世界農業遺産推進課自然共生推進担当 ☎23-2281

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、令和元年度から豊饒の大地「大崎耕土」世界農業遺産ブランド認証を開始し、「大崎耕土」で作られた農産物や加工品のブランド化を目指しています。

現在、「米」「野菜」「岩出山凍り豆腐」「日本酒」の４品目がブランド認証品として販売され、今年度も「米」の認証登録申請が始まっています。

「野菜」の認証では、生産者の世界農業遺産への理解を深める講座の受講や、有機肥料を使用した伝統的な土づくりなどを認証要件とし、また「日本酒」の認証では、大崎地域内の米を使用した純米酒を対象に、伝統的な技術を生かした発酵食文化の取り組みを認証します。

「大崎耕土」で大事に育て、作られたブランド認証品はロゴマークが目印です。道の駅おおさきなどで販売していますので、探してみてください。

◀ブランド認証品ロゴマーク

大崎耕土 世界農業遺産 OSAKI KOUDO 認証品 CERTIFIED PRODUCTS

大崎耕土ウェブサイト
OSAKI KOUDO Website

パタ崎さんの食育コラム

その13
上手なおやつの楽しみ方♪

問 世界農業遺産推進課企画調整担当 ☎23-2281

おやつを食べると幸せな気持ちになるよね。気分転換やリラックス効果、不足しがちな栄養素の補給などの役割があるんだよ。

お腹が減ったときやご飯を食べた後にもおやつを食べたくなるよね。でも、食べ過ぎると肥満や生活習慣病、虫歯などの原因になるから注意して食べようね。

おやつを食べるときのポイントを教えるよ。

食べる時間を決めて、めりはりをつけることや、200キロカロリーを目安に、食べる量だけ袋から取り出して調整しながら食べてほしいな。

また、おやつは３回の食事で不足しがちなカルシウムや食物繊維、鉄分などの栄養を補えるものを選んだり、牛乳やヨーグルトなどの乳製品、季節の野菜や果物、芋類などもお勧めだよ。

休日には、家族や友人とおやつを作って、みんなで楽しんでみよう。

市長コラム 天地人

祝150周年

宮城県が県制150周年という大きな節目を迎えました。

我が国が近代化に向け、大きく舵を切った明治5年（1872年）に宮城県が誕生し、大正、昭和、平成、令和と歩みを続け、地震や津波、台風、戦争など、幾多の困難に遭いながらも、先人たちの不断の努力により、着実に、かつ豊かに発展、成長してまいりました。

今年度一年間にわたり、150周年記念事業や関連イベントが実施されます。

記念ロゴマークのデザイン者は、大崎市古川在住の古川工業高等学校三年生（応募時）佐々木七海さんです。

県政150年の歴史は、市町村変遷の歴史でもあります。

明治22年（1889年）の市町村制、明治の大合併で1012町村が199市町村に再編されました。

昭和22年（1947年）の地方自治法施行、昭和の大合併で187市町村が75市町村に再編されました。

平成5年（1993年）から平成13年（2001年）までの地方分権一括法や平成7年（1995年）の改正合併特例法、平成の大合併で71市町村が35市町村に再編されました。

そして今、地方創生（まち・ひと・しごと創生法）へと取り組んでおります。

住民に最も身近な基礎自治体である市町村は、県政150周年を契機に歴史を振り返り、次なる200年に向けて、持続発展可能な自治体、ポストコロナや田園回帰、地方創生を目指し、チャレンジしてまいります。

私も市長会会長としてけん引役を果たしてまいります。

大崎市長 伊藤康志